筑紫地区小学校音楽教育研究会

第２回授業研究会

令和４年　２月８日(火)

１　はじめの言葉

２　会長あいさつ

３　授業研究会

（１）コロナ禍における授業実践報告

（２）今後の研究について

　　　①令和４年度の研究主題・副主題について

　　　　　○　令和４年度より，福岡地区(糸島，糟屋，宗像，筑紫)で研究主題を統一することになりました。４地区が同じ目標に向かって，音楽科の授業について研究したり交流したりできるようにするためです。令和４年度に糸島地区が地区大会を開催することに伴い，年度当初に主題について提案され，４地区で協議し，決定していきます。

　　　　　○　以下の理由により，副主題については「聴いて表す活動」をもう一度研究してみてはどうでしょうか。

・主題が４地区で統一されることになり，副主題で各地区のカラーを出していくことになったため。

⇒筑紫地区といえば「聴いて表す活動」ではないでしょうか。

・近年若い先生方も増えてきたため。

⇒これまでに積み重ねてきた研究を，若い先生方にも伝えていけたらと考えます。

　　　　　　・これまで研究してきたことが，実践していくうえで様々な工夫が必要になったため。(コロナ禍により)

　　　　　　　　⇒今までの研究の良さを大切にし，さらにコロナ禍でもできる授業にしていきたいと考えます。

　　　　　　※副主題については，現在検討中であるため，会員のみなさまの意見をいただけると幸いです。本研修会のアンケートで意見の記入をお願いします。

　　　②研究の進め方について

　　　　　○これまで通り，zoomを使用しながら，会議や研修等は実施していく予定です。

　○授業研については，原則オンラインでの実施を考えています。

　　　　　　　【４５分の授業を撮影→研究内容にそって動画を編集→視聴→協議(手立ての有効性)】という流れを考えていますが，撮影した授業をどのように切り取っていけば，子どもたちの姿をしっかり捉えることができるか，子どもたちのどのような姿を見て，評価や授業について協議していくか，なども課題になってくると思います。

　　　　　○「Google　classroom」も使用していきたいと考えています。

　　　　　　　説明が不十分なまま，グーグルクラスルーム(以下クラスルーム)への参加のお願いをしてしまい，申し訳ありませんでした。コロナ禍で，会員のみなさまと何とかしてつながる手段をつくることができればと思い，クラスルームへの参加をお願いしました。クラスルームの利点としては，データの共有が簡単にできること，連絡事項をいつでも確認ができること（パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットでも使用可）です。

主に，クラスルームを通して行いたいと考えていることは，以下の２点です。

　　　　　　①会員全体のグループだけでなく，授業研の形に合わせて，他のグループも作成し協議する。(学年部等)

　　　　　　②指導案審議を，クラスルームを通して実施する。(指導案データが載せられます)

全体のグループは，会員のみなさまの参加が確認でき次第，クラスルームを活用していきたいと考えています。令和４年４月になりましたら，令和４年度の会員のみなさまで，再度クラスルームを作成しようと考えています。来年度も，感染症対策をしながらの研究になりますので，積極的に参加していただけるとありがたいです。

（３）質疑・応答

４　その他の連絡

　　　　　・第２回授業研究会のアンケートについて

　　　　　　夏季研修会の時のように，大谷小学校のホームページにQRコードを掲載しています。以下の４点について回答をよろしくお願いします。(記述式)

　　　　　　①研究に関する話を聞いて，これからやってみたいと思ったこと

　　　　　　②今，困っていることや悩んでいること(音楽科の授業について)

　　　　　　③令和４年度の研究副主題についての御意見

　　　　　　④今年度，音楽の学習で実践した内容について

　　　　　※校務等で本研修会に参加できなかった方も，ぜひアンケートの回答をよろしくお願いします。

５　終わりの言葉